



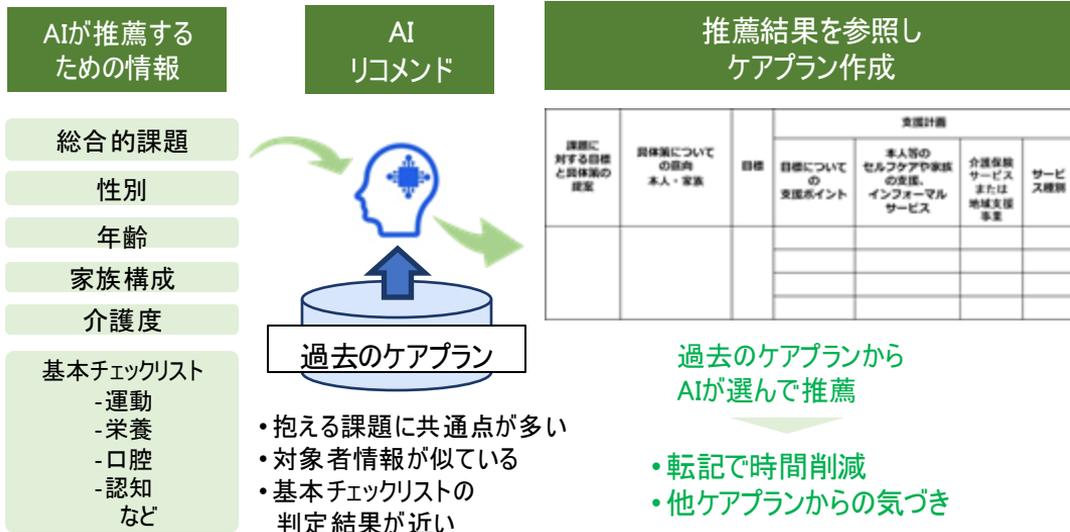
# 解決したい課題

## 2. ケアプラン作成の効率化・抜け漏れ防止

- 多可町の地域包括支援センターでは、介護サービス利用者に対して、ケアマネジャー（以下、ケアマネと表記）が本人や家族の要望を聞き取っている。聞き取った内容をもとにケアプランを作成しているが、制度的に複雑かつ本人や家族の要望を踏まえて作成するため、時間がかかったり、プランの抜け漏れが出てきてしまう。
- 現状は抜け漏れが見つかる度に、ケアプランの修正や確認に再訪問等を行っており、ケアマネの負担が大きい。
- また、ケアプランは各担当ケアマネがひとりで作成している。ただし、作るべきケアプランに対する考え方はケアマネごとに異なり、他者が作ったケアプランとの比較や評価は現状では十分に行えていない。
- **AIにより過去のケアプランから最適なプランを推奨し、作成時間の削減と抜け漏れを防止し、業務の効率化を図りたい**

# 実証内容

多可町の過去のケアプランの中から、利用者に最適なケアプランをリコメンドするシステムを活用することは、従来方法と比べ、ケアプランの作成時間の短縮および抜け漏れ防止に関してし、どれくらい有効かを検証する。



従来

実証

ケアプランの作成

各ケアマネが個人の経験にもとづいてイチから作成

AIがリコメンドするケアプラン案を修正する形で作成

抜け漏れ確認

ケアプランを作成したケアマネ本人が確認

ケアマネ本人の確認に加え、AIのリコメンドも確認に使用

# 実証結果

	従来	目標値	結果
ケアプランの 作成時間	総合的課題 20分	25%短縮 (15分)	<b>57.5%</b> 短縮 (8.5分)
	具体的施策 110分	25%短縮分 (82.5分)	<b>60.9%</b> 短縮 (43分)
	測定効果	目標値	結果
抜け漏れ防止 効果	質の向上	現状維持以上	<b>87.5%</b> が現状維持以上
	記載の抜け、漏れの 気づき	37.5%以上 (5年未満者への有効評価)	<b>37.5%</b> が抜け漏れ防止 効果に有効と評価
	記載に関する気づき やアドバイスとして の有効性	37.5%以上 (5年未満者への有効評価)	<b>75%</b> が作成時の気づき、 アドバイスとしての活用に 有効と評価

AIによるレコメンドを参考にしながら作成することにより、  
**質を維持しながら時間短縮効果が得られた**

# 今後の展開（採択企業）

- ・利用者と同じ課題を有する過去のケアプランを抽出する際に、【AIが推薦するための情報】に含まれてない、補助金活用による転倒防止などのインフォーマルサービスについては効果は限定的
- ・キーパーソンや主たる介護者が違ったり、目指す目標、支援環境などが異なったりする場合は、AIがレコメンドしたプランからの修正が多くなる場合があり、AIレコメンドが逆効果となるケースがあった

→ 得られた課題を改善するための、AIレコメンドの精度向上や、モニタリング・評価の結果をフィードバックする仕組み構築

- ・AI学習する教師データ件数が少なく、レコメンドの元となるケアプランに当たる確率が低かったことが想定される

→ 継続利用による教師データの増加や、広域連携で複数自治体が協力する事により分母となる教師データの件数を増やす可能性が期待できる